

## 令和元年度第1回石狩市地域公共交通活性化協議会 議事録

**日 時** 令和2年2月19日（水）15時00分～15時45分

**場 所** 石狩市役所5階 第2委員会室

**出席者** 小鷹雅晴会長、糸岡奨平代理、三上広土代理、貝田保史委員、桑山渉委員、河合保郎委員、赤間聖司委員、池田篤司委員、久保田貴浩委員、杉澤武則委員、大黒三千代委員、渡邊恭子委員

**事務局** 企画課交通担当課長 上窪健一、企画課交通担当主査 鈴木徹哉

**傍聴者** 2名

### 次 第

1. 開会
2. 委嘱状交付
3. 各委員自己紹介
4. 議題
  - ・石狩湾新港地域への効率的な交通網の確保について
  - ・公共交通空白地の解消について
5. その他
6. 閉会

＝＝＝＝＝＝＝＝＝ 審議内容の記録（審議経過、質疑、意見等）＝＝＝＝＝＝＝＝＝

以下の質疑・意見については、 は委員発言要旨、 は事務局発言要旨

1. 開会
2. 委嘱状交付
3. 各委員自己紹介

#### ●会長・副会長の選出について

事務局から小鷹委員を会長とし、岸委員を副会長として提案するがよろしいか。

筆記

委員異議なしとのことから承認された。

### 4. 議題

- ・石狩湾新港地域への効率的な交通網の確保について（事務局より説明）
- ・公共交通空白地の解消について（事務局より説明）
  - 石狩湾新港地域における新たな交通システム実証実験運行計画の概要 <資料3 >
  - 石狩湾新港実証実験運行計画について <資料3-1 >
- 「公共交通空白地」における地域住民との意見交換会実施要領 <資料4 >

**【質疑・意見】**

○協同組合石狩新港卸センター地区を実証実験の場所に決めた理由を教えてください。

以前行った企業へのアンケートやヒアリング結果を踏まえ、企業が集積しており公共交通の利用転換が想定される当地区を選定した。

○実証実験の広報は、どのように行うのか。

実証実験のターゲットは、企業の従業員を想定しているため、石狩湾新港企業団地連絡協議会や協同組合石狩新港卸センター組合を通じて企業に対しPRを行う予定である。

○現在、企業に行っている実証実験に関する調査内容について教えてください。

約50社の企業に対して、実証実験バスの利用意思や利用人数などについてアンケート調査を行っている。まずは、そのアンケート結果を踏まえて、コミュニティバスの規模感を算出したいと考えている。

○広報の際には、企業に実証実験の目的などをよく知ってもらったほうが良いと思う。

○市役所が出発地点だが、路線間であれば、市役所以外の場所でも乗ることは可能なのか。

可能である。乗降場所については、今後調整する。

○乗車は予約制なのか。

企業へのアンケート結果にもよるが、ある程度の予約型を想定している。

○実証実験参加者への意識調査は行うのか。

実施する。

○有償実験の際の料金は、幾らにするのか。

料金は、既存のバスやタクシー料金、さらに無償実験に参加していただいた利用者のアンケート結果を勘案し、その持続可能性なども勘案しながら設定したいと考えている。

○就労希望の潜在需要などがあることが分かった。利用されることを期待して、今の計画内容で、1度実験をやってみる必要があると思った。

○有償実験時の料金については、実際に運行することになった際に乗らなくなったのでは意味がないので、サービス料金にせず現実感のある料金設定にしたほうが良いと思う。

公共交通空白地の解消について、生振地区において、公共交通空白地における移動手段の確保に向けた地域住民との意見交換会を3月13日（金）に開催する予定である。

## 5. その他

今後のスケジュールについて

次回の第2回石狩市地域公共交通活性化協議会は、3月24日（火）10時を予定している。

## 6. 閉会

令和2年3月30日 議事録確定

石狩市地域公共交通活性化協議会

会 長 小 鷹 雅 晴